

経営比較分析表（令和4年度決算）

別紙1

青森県 黒石市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非通用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり処理料金(円)
-	該当数値なし	0.33	52.79	4,045

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
31,557	217.05	145.39
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
103	0.16	643.75

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

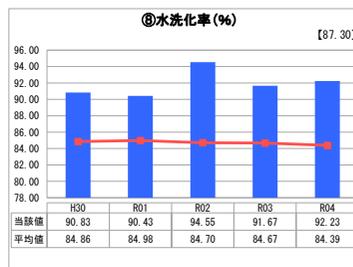
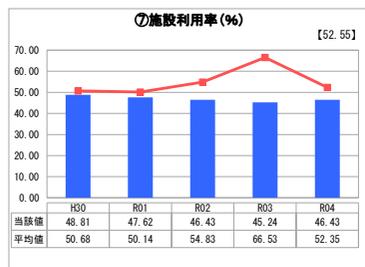
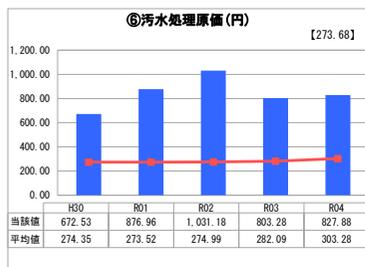
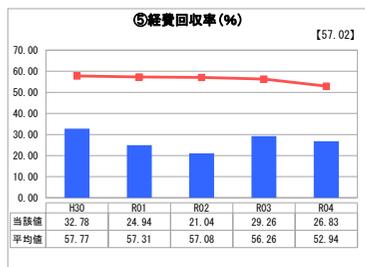
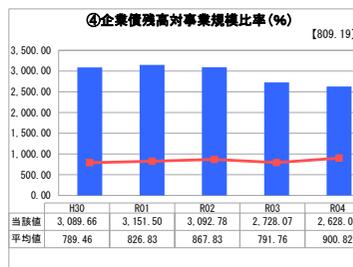
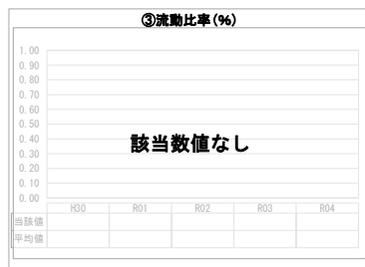
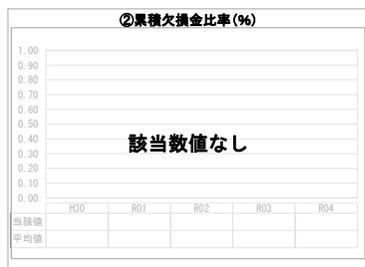
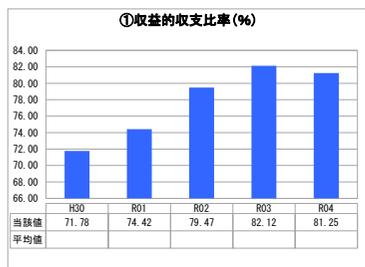
当市の農業集落排水事業は、人口減少に伴い使用料収入が減少しており、使用料収入のみでは財源が足りず、多額の一般会計繰入金により賄っている。

経常収支比率は、徐々に上昇してはいるものの以前として100%を下回っており、なおかつ経費回収率の低さからみても、事業経営について、使用料以外の収入に依存している状態である。

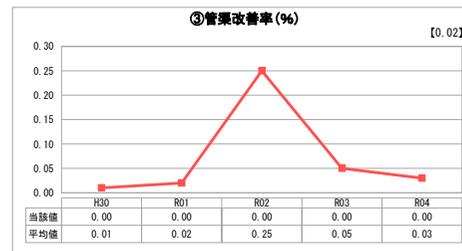
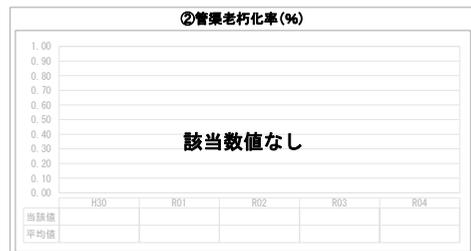
また、事業の規模に比して企業債残高が多く、償還により残高を減らしてはいるものの、企業債残高対事業規模比率は高止まりしている。ただし、令和5年度を1つの山場として、令和6年度以降は償還金額は大幅に減少する予定である。

処理区域内人口も年々着実に減少しており、今後も収水量の増加は見込めないため、合併処理浄化槽への切替えを行うなど、事業の存廃に関わる検討が必要である。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



2. 老朽化の状況について

当市の農業集落排水事業は、平成9年4月1日供用開始であり、管渠等の法定耐用年数までには至っていないため、現在のところ老朽化による更新は行っていない。

経費回収率や汚水処理原価などが類似団体平均と大きく乖離しており、なおかつ改善の見込みが少ないことから考えると、現在の施設の維持管理に努め、今後も管渠等の更新は予定しない方針である。

全体総括

現時点でも多額の一般会計繰入金に頼った状態で経営は厳しく、今後も使用料収入の増加が見込めないとすると、経営状況の更なる悪化が予想される。

今後は合併処理浄化槽への切替えなどを検討するなど、事業の存廃に関する審議が必要となる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。